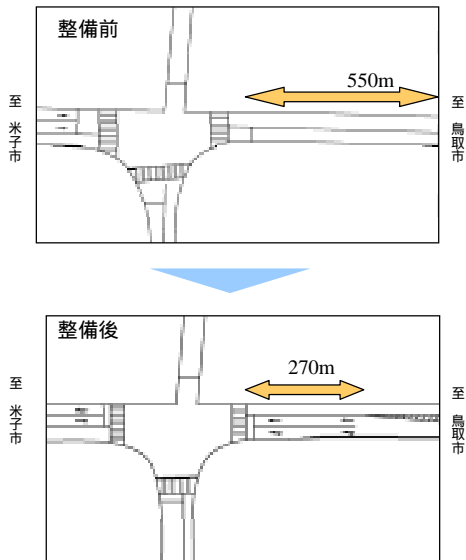


1. 国道9号西原交差点整備

西原交差点の整備によって渋滞緩和及び事故件数が削減されています。

渋滞



右折レーンの設置によって、最大渋滞長が550mから270mと減少しています。また、交差点の通過時間についても、以前の3分から1分と2分の短縮となっています。

この交差点整備により、渋滞損失額が5,600万円/年削減されています。



事故

4月～6月の3ヶ月死傷事故件数

2件

年ベースに換算すると

8件
(3件削減)

右折レーンの設置によって、事故件数についても整備後3ヶ月で2件となっています。年間ベースに換算すると8件で、供前の11件と比較して3件減少したことになります。

利用者の声



渋滞が少なくなり、車の流れがスムーズになりました。また、整備前よりも歩道が広くなり、安心して歩けるようになりました。車や歩行者、自転車等が道路を安全に利用するためには、道路幅をできるだけ広くすべきだと思います。

(30代、男性)



整備前よりも道路がきれいになり、走りやすくなりました。渋滞解消のため、積極的に右折レーン設置を進めてほしい。

(60代、女性)

2. 国道53号東町歩道舗装

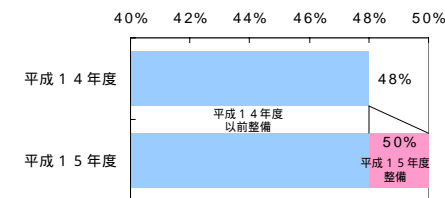
国道53号東町歩道舗装の整備によってバリアフリー化率が向上し、利用者からも好評のご意見を頂いています。

バリアフリー化率



今回の整備により、重点整備地区におけるバリアフリー化率は50%となりました。

バリアフリー化率



重点整備区間4800m中

利用者の声



(80代、女性)

私は、心臓が悪いので、勾配もゆるくなり、歩きやすくなって助かっています。また、以前は、歩道を歩くと舗装がガタガタと動くものがあり、時々つまずいて危ないと思っていました。今では黄色の点字ブロックとの境も平らになってすごく歩きやすいです。

以前に比べて、段差や勾配が少なくなって歩きよい。見た目はデコボコしているように見えるがつまずいたりということもなく、いい。雨の日も滑ったり水が溜まったりすることはない。

(60代、男性)



赤十字病院勤務の西尾さん

病院入口前スロープの傾斜がゆるくなったため、送迎車両や車イスなどが通りやすくなりました。また、以前は歩道上の植樹帯により、車イスですれ違うことができなかったが、すれ違えるようになりました。



赤十字病院前の状況